

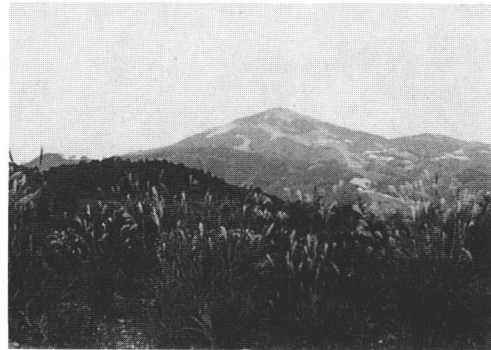
阿武隈山地に起った地殻の運動によってできたものと考えることができる。それで分水界に見られる一定の方向を示すたくさんのわれ目の構造や規則正しい無数の節理などは、こ



〔日山山頂にある国土地理院の三等三角点〕  
こまかい測量するとき使用される標石、十のマークのつけられた花こう岩が使用され、見通しのきく高い山頂に設けられる。いつでも再測定ができるようにされているので、十分に気をくばっていただきたい。

の運動が起こったときにできたものであろう。面白いことに、この水分界の山やまの西側には、ポツンポツンと独立したトンガリ山が並んでいるのが目をひく。口太山(843m)・羽山(麓山)(897m)・移が岳(995m)・羽山岳(622m)などがそれで、この山もほぼ南北方向に配列している。

日山をつくっている岩石には、どんな種類のものがあるかということ、大部分が花崗岩(厳



〔川口部落付近から眺めた麓山〕  
頂上付近には大へん固い閃緑岩や斑岩があって、現在もさかんに石材を掘りだしている